

令和8年度 「第42回 豊田市小中学生科学研究作品展」募集について

1. 研究の見つけ方

みなさんは、毎日の生活の中で「おや?」「なぜ?」とおもったことはありませんか。夕方、西を向いていたヒマワリの花は、朝になると東を向いています。夜のうちにどう動いたのでしょうか。走っている車のタイヤを見ると、時々逆回転をしているように見えるのは、なぜでしょう。家や庭で遊んだり、勉強したりしているときに、ふと不思議に思ったこと。お家の人の面白い話や、図鑑を見ていて興味をもったこと。研究を始めるきっかけは、ほんのちょっとしたことからよいのです。みなさんの気になったことを紹介した作品を作って応募してみましょう!

2. 応募のきまり

(1) 理科についてのことで、他に発表されていないものです。

(2) 作品は、白色もぞう紙(B紙のこと)1枚にまとめます。

※もぞう紙とは別の資料はつけません。

(3) もぞう紙をたてにして、横に書きましょう。

例

(4) パソコンを使って書いてもよいですが、自分で作りましょう。

(5) 写真や図を貼ってもよいです。ただし、紙ではないものは、貼ってはいけません。

(6) 1人で研究したもの、またはグループで研究したものとしします。グループは、最大で5名までです。

3. 研究の進め方

(1) はじめに、「どんなことが不思議なのか」「何について調べるのか」などの研究の目的をはっきりさせる。

(2) 調べる前に、自分なりに結果がどうなるかを予想する。

(3) どのように研究を進めるかの計画を立てる。

① どのような実験や観察をするか。

② どのような道具や材料を使うのか。

③ どのような順番で研究を進めるか。

(4) 実験や観察を通して研究する。

① 実験や観察の結果を詳しくノートなどに記録する。

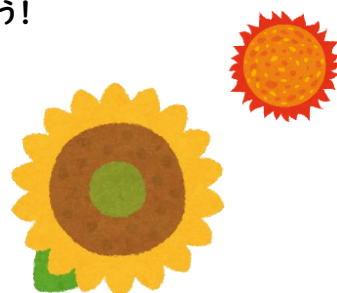
② 1つ(1回)だけでなく、いくつも(何回も)調べてみる。

③ 比較する実験では、実験の条件をそろえる。

④ 新しいことが分かったら、研究の計画を変更したり、修正したりする。

⑤ 予想と比べて、どうだったかを自分の言葉で考え(考察)まとめる。

⑥ 事実(調べた結果)と自分の考えを区別してまとめる。



4. 研究のまとめ方

- ・まとめ方に細かい決まりはありません(ただし、※は必ず書く)。自分なりに工夫してまとめてみよう！
参考までに、例を示します。

※題名

※学校名・学年・氏名

- 1 研究のねらい(調べようとしたこと)
 - ・研究しようと思ったわけ
- 2 研究の進め方
 - ・どのように調べるか、その方法
 - ・どんな道具を使って、どのように調べるか
- 3 研究結果
 - ・表やグラフを使って、結果やデータを分かりやすくまとめる
 - ・文章だけでなく、図や写真なども使うとよい
- 4 考察(まとめ)
 - ・実験や観察から自分が考えたことをまとめる

参考文献(参考にした本やインターネットのサイトなど)

☆注意点(確認したらチェックしよう)

- ☐ もぞう紙をたてにして、横に書きましたか。
- ☐ パソコンを使って書いてもよいですが、自分で作りましたか。
- ☐ 作品には、題名・学校名・学年・氏名を書きましたか。
- ☐ 写真や図ははがれることがあるので、貼る前に裏に名前を書きましたか。
- ☐ 本を丸ごと写すのはいけません。ですが、参考にしたうえで自分なりに考えて観察、実験に取り組んだ内容であれば構いません。(参考文献に書きましょう。)

5. とよた科学体験館企画展について(研究の参考にしてみよう！)

- (1) 日時:令和8年7月18日(土)~8月30日(日) 午前9時~午後5時
- (2) 場所:とよた科学体験館(豊田市産業文化センター)
- (3) 内容:昨年度(令和7年度)の入賞作品の展示